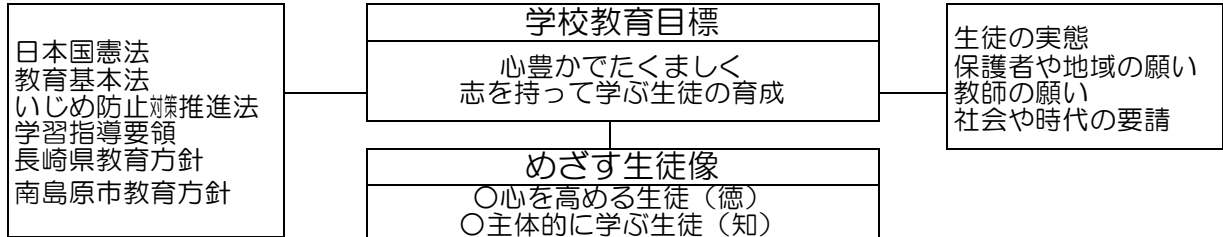
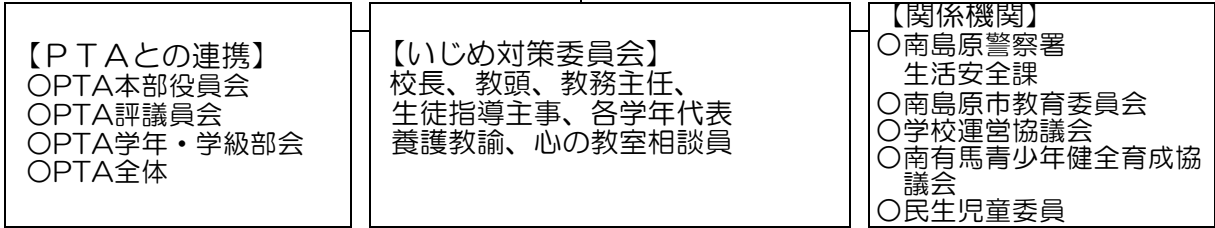


いじめ防止基本方針



重点目標
「思いやりと勇気をもって、気づき、考え、行動する」



- 【いじめ防止】**
- 校内指導体制の確立
 - ・校長を中心にいじめの重大性を認識した一致協力した指導体制の確立
 - 教師の指導力の向上
 - ・それぞれの事例・生徒についての共通理解を図る定期的な校内研修
 - 道徳教育の充実
 - ・全教育課程においての実践
 - ・「いじめをしない」「いじめを許さない」という人間性豊かな心の育成
 - ・体験活動を生かした道徳の授業の設定
 - ・生徒の実態に合った魅力的な資料
 - 体験活動の充実
 - ・道徳的価値を明確にした体験活動の体系的展開
 - ・地域や保護者と一体となった活動
 - ・地域の一員として郷土を愛する心の育成
 - 人権教育の充実
 - ・人権集会・人権講演会や年間を通じた活動
 - ・生命尊重の精神や人権感覚を育成・人権意識の高揚
 - ・生徒会本部や平和・人権実行委員会の主体的な活動
 - コミュニケーション活動を重視した教育活動の充実
 - ・日々の授業における学び合い学習やグループエンカウンター
 - ・対等で豊かな人間関係を築くための教育活動
 - 保護者や地域の方への働きかけ
 - ・授業参観や保護者懇談会の開催、HP、学校・学級だより等による広報活動
 - ・PTAの各種会議等
 - ・インターネットによるいじめについての啓発・依頼
 - 生徒会活動の活性化
 - ・いじめ根絶宣言
 - ・一人一人の校内における居場所づくり

- 【早期発見】**
- 日々の観察
 - 生活記録ノート等の活用
 - 教育相談の実施
 - 定期的な生活アンケートの実施
 - 職員研修の実施
 - 保護者や地域との連携・協働

- 【早期対応】**
- 正確な実態把握
 - 指導体制、方針決定
 - 生徒への指導・支援
 - 保護者との連携
 - 今後の対応
 - ・継続的な指導・支援
 - ・生徒の心のケアを図るスクールカウンセラー等の活用
 - ・心の教育の充実
 - ・誰もが大切にされる学年学級経営
 - ・各分掌の役割を明確化による日常的な取組